



いま ぽっくりが アツい！

なんかちょっとブーム。
なんかちょっと面白さ再発見？？
みんなが歩き出したぞ！
パカポコパカポコ……。
“ぽっくり”の面白味を勝手に予想。

大津市立田上幼稚園

令和8年9月7日

保育主任通信 松尾 誠史

page_28

Peppie's Pages



その①【限界突破！15センチの空中散歩】

視界がほんの少し高くなって
得られる「謎の全能感」。子ども
にとっての15センチは大きい
ものなのではないでしょうか。

その②【絶妙！おとっと感】

歩くだけで丁度よいスリル感。



ほどよく刺激を味わって、脳の
バランスセンサーがフル稼働。山
にまで登ろうとする果敢なKIDS。



【限界チャレンジャー登場！？】

かまぼこの形状をもつ独特な
デザイン。
これは難易度も★★★★ですね。



ワンダーライン（一本橋）を渡
り、トンネルを抜けるミッション
を作ってみました。すると…

せんせー！
これ、どうやっても
いーやろー！！



とのこと。しかし、いつの日かミッションコンプリートすることを切に
願っているよ。

紐を引っ張りながら脚を上げる難しさや、ロボットの様な動きがもたらす
手と足の強制連動システムが魅力のぽっくり。普段の歩行にも体幹の強化が
プラスアルファされ、猫背やすり足の解消も期待できる??





試しにやってみたら…。

そうや、このハートの種
(ふうせんかずら) で色水
作ってみよう★

とやってみるのですが

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園

令和8年9月5日

保育主任通信 松尾 誠史

page_27

しかし、種がつぶれないので
作れません。仕方がないのでア
サガオの花を入れてそれっぽく
してみるけど、どうも思い通り
の色ではない様子。すると、

あれ？ハートはつぶれない
から作れない…



〇〇ちゃん、その種じゃな
くて、向こうのムラサキの
種やで。



と、ツルムラサキの存在を教
えてくれた友達。

こっちのムラサキの
種やったんかー！

見て見て！
先っぽには小さい
ピンクも緑もあるで！



ハートも緑もムラサキも、黒も茶色も小さいのもみんなタネ。子どもたち
は種としての共通点やつながりを感じながら、差異点や特徴を見つけて遊び
に取り入れています





「なぜ？」であふれる毎日

「せんせい、黒でもなくて、
緑でもなくて、
茶色やったで！」
「えーっ！」

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和8年9月4日
保育主任通信 松尾 誠史
page_26



さくら組が春に蒔いた「ハートの
たね♥」それは、ふうせんかずらな
のでした。

春から夏にかけて子どもたちの背
丈を超えるほどの生長ぶり。

茶色と緑と、クリーム色の
ふうせんがあるよ。

よく見たら、黒と緑と茶色
とムラサキもある！

保護者の皆さん、ご兄弟姉妹のみんなも、よかったら何色が出るか試してみてください。



種取りをしているとき「茶色のを
取るんやで、緑は取ったらあかんで
ー」と言う子もいました。きっと3
歳児のころから上級生や先生に教
えてもらったのだろうと推察し
ます。

しかし私は言います。「緑も取っ
てもいいよ」と。

「え？いいの？」

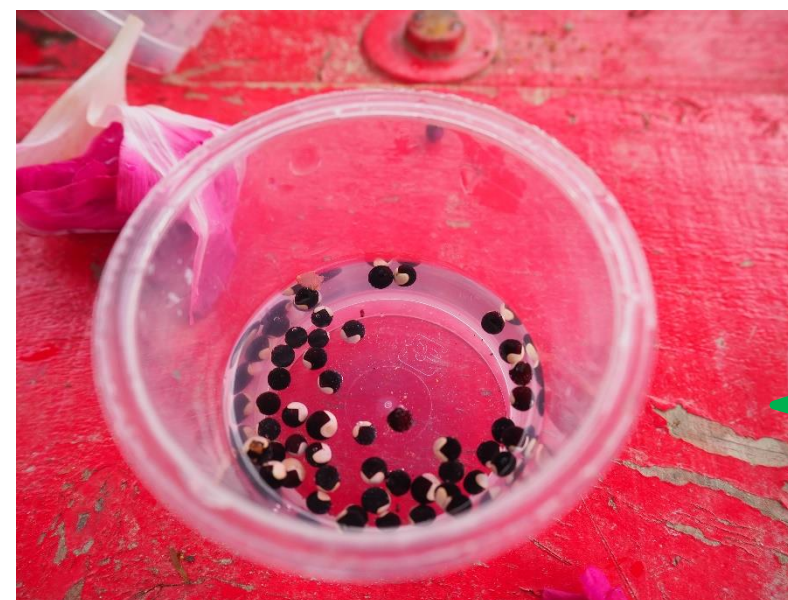
と言って取り始めるとカップは
たちまち色とりどりに。緑はふっく
ら一回り大きく、つやつやしていて
かわいいんです。



もちろん黒い種子でなければ、次の芽出しは難しい。だから「緑色は取らないように」と大人は言ってしまうのです。しかし、その感覚は“子どもの遊び”にとっては、大人の一方向的な当たり前なのではないでしょうか。

その大人が抱かせる当たり前より
も、子どもに「試す機会」と「自由度」
を広げていくことで、新たな発見や
気づき、そして子どもの「なぜ？」が
あふれるのだろうと思っています。

水に入れたらどうなるかな？
そうや！これで色水作ろう！



次号に続く





「楽しい」から失敗しても面白い。
「楽しい」からできなくっても気にしない。
「楽しい」から好きだし、笑い合えるし、遊びあえる。

田上幼稚園では、そのような活動を目指していきたいと考えています。



「楽しい」が「育ち」に

改めて【田上幼稚園の教育目標】は
「たのしいはっけん」
「なんでもやってみよう」
「からだげんき」
「みんななかま」 です。



大津市立田上幼稚園
令和8年 8月 25日
保育主任通信 松尾 誠史
page_25

幼稚園での活動は「楽しい」と感じられる取り組みを基本にしていきたいと考えています。

「楽しい」からやってみたくなる。
「楽しい」から続けたくなる。
「楽しい」から繰り返したくなる。
「楽しい」から伝えたくなる。



2学期から使用しようと職員で製作していた板平均台（その名を“ワンダーライン”）を見つけた夏季預かり保育の子どもたち。ちょっと一緒に遊んでみると、落ちないようにそっと渡ったり、両手でバランスを取ったり、“どんじゃんけん”の遊びも始まり楽しんでいます。そして、これが面白い👉👉👉



いつの間にか、気分は“冒険”や“探検”のイメージになっているようです。

向こう岸まで友達に力いっぱい押してもらって到着です。

（片付け用のカゴだから入っちゃダメ？
まあそれもあるかもしれないけど、そんなことより、よく滑るんだよ！このカゴ！）

数十分、歩く、渡る、またぐ、バランスをとる、押す、引く…などの動きが楽しみながら育まれていました。

そこにあるのは、テラスに高々と響き渡る大人と子どもの楽しそうな歓声。大人も子どもも一緒に「楽しい」がいつのまにか「育ち」になっているひとときでした。



片足出したら、独りでも進めるかな…？



夏のボードゲーム篇 (Part2)



Peppie's Pages

幼稚園では夏季・冬季などの長期休業中も預かり保育を行っております。

水遊びや室内での遊びもしますが、ご家庭でもよければ、こんなボードゲームはいかがでしょうか。《Part2》

大津市立田上幼稚園

令和8年8月4日

保育主任通信 松尾 誠史

page_24



【Otrio(オートリオ)】というゲームです。こちらも三目並べの進化版。

いわゆる〇×ゲームがベースになっています。

ルールは、自分の色を

- ①同じサイズを3つ並べる or
- ②大中小を順番に並べる or
- ③同じ場所に同心円状に大中小を置くというものです。

2人から4人までの対戦が可能で、数分で決着がつきます。



【空間認識能力と
「大きさ」の概念】

指先でつかんで扱うことと、枠にはめて立体的に遊ぶことで、大・中・小の大きさの違いを感じながら、学び遊ぶことができます。

【因果関係の理解】

遊んでいるうちに、相手の一步先を見通しながら自らの手を進めていくようになります。つまり、「論理的思考力」(「もし~したら、どうなる?」という筋道を立てて考える力)が育ちます。

(あそこに置かれる前に、誰かが守らなきゃ、勝たれちゃう…!)



3人以上の複数対決だからこそその「駆け引き」も生まれます。

4・5歳児になると、ルールも分かってくるものと思います。



夏のボードゲーム篇



Peppie's Pages

幼稚園では夏季・冬季などの長期休業中も預かり保育を行っております。

水遊びや室内での遊びもしますが、ご家庭でもよければ、こんなボードゲームはいかがでしょうか。

大津市立田上幼稚園

令和8年8月1日

保育主任通信 松尾 誠史

page_23



〔サイズの認識と空間認知力〕

大中小のサイズを正しく理解して遊ぶことは、「大は中を隠せる」「先にどれを置いたらいいか」などと考えることになります。

大きさは違っていても、縦・横・斜めに並べていきますので、空間的な配列を視覚的に捉える力も育ちます。



進化系〇×ゲームの[ゴブレットゴブラス]は縦・横・斜めに並べるだけですが、コマはそれぞれ大・中・小を2つずつ持っています。

決着は早ければ30秒ほどで着くときもあるので、何度でも繰り返して楽しめます。

被せたコマの下に、相手のコマが隠れていて、移動させようと持ち上げて敗北してしまうというパターンもあるので、短期的な記憶力や集中力も高まりますよ。



〔先を読む力（論理的思考力）〕

「ここに置いたら、次は相手がここにかぶせてくるかもしれない」という予測能力が育ちますし、自分の「攻め」だけでなく、相手への「妨害」を考えたりする観察力や思考力も働くのです。

〔感情のコントロールと社会性〕

「勝ったからうれしい」ももちろんですが、「負けたから悔しい」と感じることもあるのがゲームです。

「負けてももう1回！」と気持ちを切り替える心の強さ（これを「レジリエンス」といいます）や、ルールを守ったり、知らない人に教えたりする社会性も、こういった対人型のゲームで身につけていきますね。





いらっしゃいませ★
どれにしますかー？

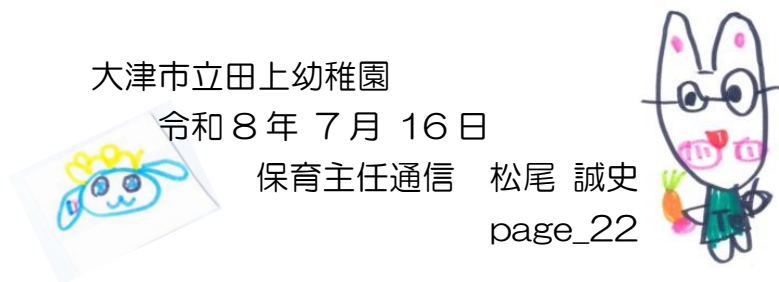
お客さんとして来てくれた
異学年の子に、嬉しそうな表情の
5 歳児たち。あじさい組が展開
するごっこ遊びの一場面です。

大津市立田上幼稚園

令和 8 年 7 月 16 日

保育主任通信 松尾 誠史

page_22



数日前、「どんなふうにし
たら、釣り針になって、魚が
引っかかるかなあ」と、材料
棚の前で、仕掛けを考えてい
た彼。

今ではとってもナイスな
空間が出来上がりつつあり
ます。



うまくできない、そんなときは
棒に紐を巻き付けて…短くして
…こうすれば…

と、初心者向けの釣り方の
アドバイスもしてくれる釣り
堀のおにいさん。

本当に、こういった優しい
お兄さんいるよね…。



ただただ楽しんでいる 4
歳児も、お店をやっていると
知ると、画用紙でお金や
財布を作ったりして、遊び
を自ら楽しもうとしていま
した。

そうして世界観に浸っ
て、満足したり、憧れを持っ
たりしていきます。



そして 5 歳児には、目的をもった「主体性」や、クラスの中で力を合わせて
役割を果たす「協働性」が育っています。「自分がこの店を切り盛りしてい
るんだ」「どうすれば喜んでくれるだ
ろうか」と考え、工夫し、試行錯誤
する様子が見てとれます。

7 月 11 日のイベント「幼稚園に
いらっしゃいデー」でも大盛況を収
めたあじさい組のごっこ遊び。

子どもと担任の願いが形になった
空間でした。





これこれー。みてみてー。
キュウリの葉っぱをつまんだらね、
音が鳴るんよ。きいてみてー。

サクッ

すごいでしょ！



大津市立田上幼稚園

令和8年7月14日

保育主任通信 松尾 誠史

page_21

Peppie's Pages



5 歳児とともに広大な畑に
収穫に行った夏の朝。

そんな面白いことを教えて
もらった4 歳児は、キュウリ
の葉っぱをつまみまくりま
す。

すごーい！ **サクサクサクサク**

えーっ！ちょっとまって！
なんで服に葉っぱついてんの？

あ、これ？これはインゲンマメ
の葉っぱなんだけど、これだけ、
なんだか服にくっつくんよ。

まあ、発見したのは〇〇ちゃん
なんだけど。

すごーい！マジックテープみたーい



植物は我々動物のように
動いて逃げたり手で身を
守ったりすることができま
せんよね。

だからキュウリのように
サクサクするような硬い葉
にしたり、インゲンマメの
ようにフック状の毛のある
葉をしているわけです。



ただの野菜の収穫にとどまらず、ひとつひとつをじっくり見つめ、問いを
もち、自ら関わろうとする力が育まれています。

しかも自分だけでなく、友達
に伝えようとしていたり、教えてあ
げようともしている田上幼稚園
の子どもたち。

豊かな自然環境が、

★ただ「見る」だけの対象から、
★積極的に「関わる」対象へと、
日々の積み重ねによって変わっ
ていっています。





台風前的大雨で、庭には大きな水たまり。傘をさしつつ長ぐつで、ピチャピチャ入って登園です。

お昼頃、その後も強まる雨の勢いに、Aちゃんが言った一言は、「なあ、先生、雨やばいなあ」でした。

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和8年7月2日
保育主任通信 松尾 誠史
page_19



いつもと違う空模様に心を動かされ、驚きを伝えてくれたことが嬉しかったです。

「すごい・強い・怖い・大変だ」そういった言葉が「やばい」に現れているのだと思います。

しかしながら、何でもかんでも「やばい」と言うよりも、美しい日本語や豊かな表現を…と願っています。

そこで、Aちゃんの「先生、雨やばいなあ。」に、私は「本当だね。バケツの水をひっくり返したみたいに雨が降ってるなあ。」と、(こんな言い方もあるんやで)と返すと、

Aちゃんは私の言葉に対して、「ほんまやな。っていうか、100個のジョウロで空から水やりしてるみたいやんな」と独創的でユニークな表現をして返してくれました。直感や発想が秀逸です。

大人の言葉を吸収して、自分なりの表現に仕立て直したAちゃんのセンスに脱帽しました。



嬉しいときにジャンプすることがありますね。しかし、ジャンプすると嬉しくなるものでもあります。

うさぎになってトランポリンで跳びはねています。ジャンプは全身の筋力や体幹の育ちにも楽しみながらつながります。

【自分ほどの背の高さの巧技台へのよじ登り】



よじ登りやジャンプなどの体全体を使う遊びは、着地時に足首やひざ、股関節を柔らかく曲げながらバランス感覚を養います。また、空間認知能力や危険を予測する力も身につきますね。挑戦心や恐怖心をコントロールしながら、自己効力感や達成感にもつながっていくことと思います。





夏が始まった、そんな合図を鳴らす
ような気持ちのよい水鉄砲のしびき。

今年、2026年のプールびらきに
現れたのは…。

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和8年6月23日
保育主任通信 松尾 誠史
page_18



幼稚園のプールびらきに
荘厳な音楽のもと、子ども
たちの健康と安全な水遊び
の活動を願い、水の女神様
がやってきてくれました。
あじさい組の先生の双子の
妹といううわさも…。

女神さまからありがたい
安全に遊べる魔法の水を手
に受け取り、一人ひとり、
プールにまいていきました。

「メガミさま、ありがとう！」
「なあ、なんかいい匂いするー。」
「ほんまや！なんかお風呂の感じ？」



そんな私たちが遊ぶプールから救い
出したオタマジャクシ。掃除の時以来、
クラスで世話をしています。

毎日ちょっとずつ餌をあげて、見守
っているうちに、飼育水槽の淵に登る
まで成長しました。

このままでは生きていけないからと
いうことで、過ごしやすいところに
に逃がし、お別れをしました。

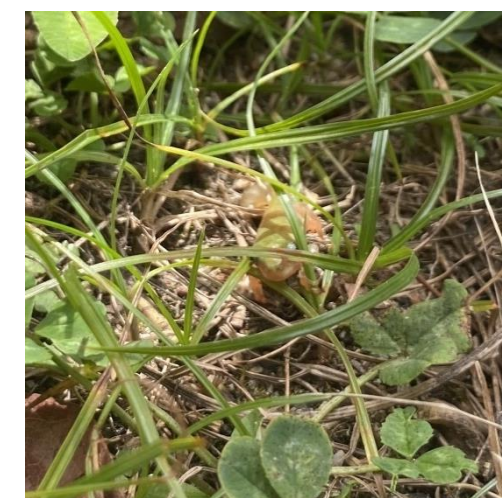


シロツメクサの茂る新しい土地に放ったのに、なかなか別れられません。
それもそのはず。とっても可愛いのです。

「見て見て！手で草をつかんでる！」
「かわいい！」

各クラスの飼育水槽にはまだオタマジャクシ
が元気に泳ぎ、それぞれ足が生えたり、手で石に
登ったりしはじめています。みんな元気なカエル
になってくれるといいですね。

自然や小さな生き物に触れ、心を動かし、命を
慈しむ気持ちを育んでほしいと願っています。





「こんなにいっぱい!」「ここにもあったよー!」「まだあるかなー?」
園庭の隅で“タコさんウインナー”を見つけた 3 歳児。同じかわいい形がたくさんあるので思わず集めたくになりますよね。

大津市立田上幼稚園
令和 8 年 6 月 18 日
保育主任通信 松尾 誠史
page_17



花壇の淵にたくさん整列したタコさん。なんだか何かを待っている行列のようです。

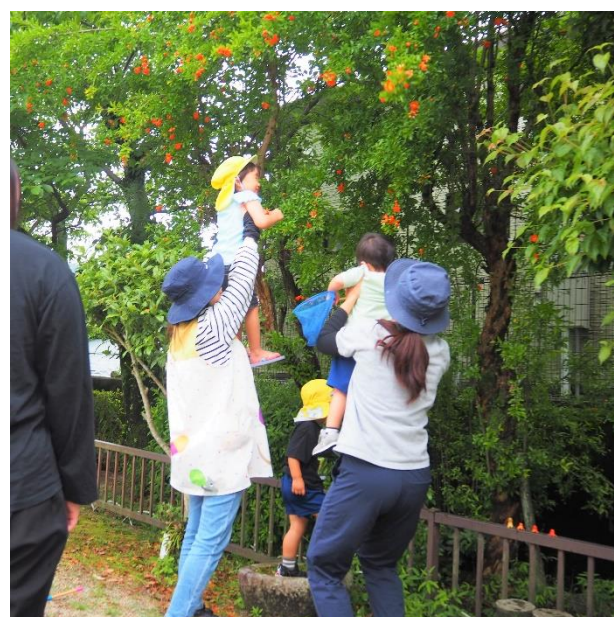
どうしても木の上のタコさんが欲しくて、抱っこしてもらう子どもたち。

我々の先輩にあたる、その昔の先生たちが、未来の大津の子どもたちのこと、つまり今の園児のことに思いを馳せて植えられた木々です。

葉を茂らせ、花を咲かせ、心躍る実をつけ、季節を感じさせてくれます。

時代が変わっても、変わらない大切なものがありますね。

※タコさんウインナーはザクロです。



「ペタクリコだよ、ペタクリコ!」
と寒天の感触を楽しみながら思わず言葉が出る子ども。おそらく先日まで触っていた片栗粉の遊びからそんなネーミングを発想したのでしょうか。
少し前まで冷蔵庫に入れていたので冷たくて気持ちいいのです。

まるでゼリーのようです。崩すとその場では固まりはしないのですが、色の混ざり具合や透明感、そして柔らかい感覚がやみつきになっているようでした。

